



# 報知ボーイズリーグ

ボーイズリーグ九州ブロックの過去記事やチーム情報、新聞購読や写真購入方法はスポーツ報知西部本社ウェブサイトに掲載しています。

福岡県代表決定戦(2日・合津運動公園野球場ほか)九州A地区最終予選

## 九州全5枠中4チームがボーイズ勢

### 第17回全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ地区代表決定戦

中学硬式野球クラブチームの日本一を決める「ジャイアンツカップ」の最終予選となる地区代表決定戦が九州各地で行われ、ボーイズ勢が次々と本戦出場を決めた。代表2枠の福岡県(九州A)は八幡南ボーイズが初、福岡志免ボーイズが6年ぶり2度目の本戦となり、代表1枠の中九州地区(九州B)は熊本中央ボーイズが6

年ぶり2度目。南九州地区(九州C)の出場枠は他リーグが手にしたものの、5月に沖縄県(九州D)代表をつかんだ浦添ボーイズも含め、九州エリアの全5枠のうち4チームをボーイズ勢が占めた。本戦は8月15~21日に東京ドームなどで開かれる。

(弓削 大輔)



スタンドの保護者らに勝利を報告して笑顔の八幡南ナイン

初出場

# 八幡南

# 本戦進

1失点の柿原は「大事な試合で3イニングも投げたのは初めて。真つすが入らなかったけど、スライダ1でカウントが取れた」と喜んだ。

八幡南は代表決定戦となる準決勝で、糸島との同リ1ク対決を6-3で制して本戦出場切符をつかんだ。自慢の投手「4本柱」を総動員しての勝利だった。先発左腕の梶原大和は、初回から2イニング連続で先頭に長打を許しながらも踏ん張り、1、2回とも最少失点に食い止めた。3回から登板した柿原倫也は交代直後に1点を奪われたものの、4回と5回は無失点で流れを作った。6回以降は内木陽也と柴田翔大につないでゼロに抑えた。

▼準決勝(代表決定戦) 八幡南ボーイズ

0	0	0	0	0	1
1	1	0	0	0	1
0	0	0	0	0	1
1	1	0	0	0	1
3	6				

糸島ボーイズ

【△】梶原、柿原、内木場、柴田 翔、本間【糸】菅、古賀、里山、栗山、里山、東、里山【▽三塁打】菅野【糸】▽二塁打||梶原、柴田 翔【△】東、貴志【糸】

### 4本柱 総動員

6月の選手権大会予選でも、逆転や延長で勝つなど粘り強さが目立っている。徳野晴美監督は「難しい試合ばかりだけど、チームに勢いがあるので勝っている。毎日地道に練習を頑張ってきた成果」とナインをたたえた。

彼らの力投に打線も応え、3点を追う4回に細かくつないで逆転した。守りでも投手をより立て、中堅手の山中皓聖は気迫のプレーを見せた。5回2死三塁の場面で、飛球を追いかけている途中にバランスを崩して転倒。打球が落ちれば追いつかれていたが、「執念で手を伸ばした」と必死にクラブを前に出してキャッチした。これでチームはさらに勢いづき、6回以降にリードを広げた。



準決勝の2番手で登板し、3回1失点の八幡南・柿原

### 粘り強さ目立つ

※決勝(順位決定戦)は雨天中止。抽選で八幡南が第1代表、福岡志免が第2代表に決まった。

▼準決勝(代表決定戦) 八幡南ボーイズ

0	0	0	4	0	1
1	1	1	0	0	0
0	0	0	0	0	1
1	1	0	0	0	1
3	6				

糸島ボーイズ

【△】梶原、柿原、内木場、柴田 翔、本間【糸】菅、古賀、里山、栗山、里山、東、里山【▽三塁打】菅野【糸】▽二塁打||梶原、柴田 翔【△】東、貴志【糸】

▼1回戦 球道ベースボールクワレッシン

1	0	0	0
0	4	0	0
0	4	0	0
1	1	1	1

糸島ボーイズ (5回コールド)

【球】樋口、大坪、東條、山下【糸】高園、里山【▽二塁打】里山、小森【糸】

八幡南ボーイズ

0	1	2	0	0	0
0	0	1	0	0	0
0	0	1	0	0	0
1	3				

ポニー筑後リバーズ

【△】内木場、柴田、本間【糸】山田、福岡、堤【▽三塁打】葉山【△】

福岡城南リトルシニア

0	0	3	0	1	0
0	0	0	1	0	1
0	0	0	1	0	1
2	4				

京楽ボーイズ

【福】堤、山川、井手【京】黒木、白石、竹内、松田、細川【▽三塁打】||貞方【福】深梅【京】

福岡志免ボーイズ

0	3	3	2	0	0
0	1	1	0	0	0
0	1	0	0	0	0
2	8				

ヤング西福岡メッツ

【福】山下、田口、江隈【ヤ】宮崎、田中、宍【▽三塁打】浅田【福】||二塁打||日向【福】宗【ヤ】

結果

準決勝の5回、山中(中央)に駆け寄る八幡南の選手たち